# ぜんせき THE ZENSEKI

第7794号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円 組合員外 月1,944円（消費税込）

3月12日（月曜日）　2018年（平成30年）

発行所 全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp
昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707



ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

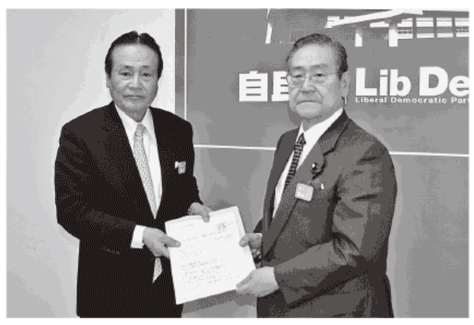

## 石油流通議連

# 全石連 北陸豪雪で要望書

## 優先除雪、満タン、地場業者活用を

自民党石油流通問題議員連盟（野田毅会長）は8日、自民党本部で役員会を開き、2月上旬に記録的な豪雪被害に見舞われた福井県を中心とする北陸豪雪災害対応における課題と今後の対応策のあり方について議論した。同役員会には森洋会長ら全石連の正副会長・支部長、被災県を代表して福井県の井田浩忠理事長や石川県の吉岡英一郎理事長が出席。豪雪災害への対応をつぶさに報告するとともに、今後の対策について提言した。資源エネルギー庁や内閣府防災担当、国土交通省、厚生労働省、中小企業庁など関係省庁の担当者らも出席し、豪雪災害への対応状況などについても説明した。

不眠不休の豪雪対応を説明する井田理事長（中央起立）と吉岡理事長（井田理事長㊧）



野田会長㊨に要望書を手渡す森会長

野田会長は冒頭、「災害時の分散型エネルギー」として石油業界には「これご苦労いただいた」と、石油業界の豪雪災害対応に感謝の言葉を述べたうえで、「これらの取り組みを整理して次の政策のレベルアップにつなげていきたい」とSSのサプライチェーンの強化に取り組む考えを示した。

一方、森会長は「今後とも我々が災害時のエネルギー供給の〝最後の砦〟として、地域住民の方々に安心・安全をお届けするためにも、さらに一歩前に進んだ対策を検討していきたい」と訴えた。

福井県の嶺南地域・小浜市に本社を置く井田理事長は、県からの要請を受けて自らローリーを運転し、120㌔離れた勝山市までの雪道を徹夜で除雪車用の軽油を送り届けるなど、組合一体となって石油製品供給に懸命に取り組んだが、「福井には油槽所があるにもかかわらず、SSに石油が届かなかった」と、除雪の遅れがSSの在庫切れにつながったことなどを説明した。

吉岡理事長は「燃料不足不安がSSでの長蛇の列を招きかねないため、マスコミ各社へ間もなく石油供給は正常に戻ることを説明。不安心理をあおるような報道は慎むよう強くお願いしたことで、SSに消費者の行列ができることはなかった」と、適切な情報提供の必要性を訴えた。

両県理事長の豪雪災害対応を踏まえ、加藤文彦副会長・専務理事は①油槽所と中核SSなどの拠点SSを結ぶ「石油の道」を最重要除雪路線に指定②国や地方自治体において『満タン&灯油プラス1缶運動』を促進・普及させ、平時からの自衛的備蓄の奨励③災害時に備え平時からの病院等重要施設の組合受注など地場石油販売業者の受注拡大－の3項目の要望内容を説明したうえで、森会長が野田会長に要望書を手渡した。

出席した議員からは「元売系列を越えてSSに供給する体制についてはすでに制度としてあるので、柔軟な対応をお願いしたい」「石油基地を県内に分散して置くことを検討してほしい」「北陸自動車道がすぐに通行止めになってしまう」などの要望、同大学院工学系研究科教授などを歴任し、15年6月に同名誉教授に就任（現職）。

## 森全石連会長の2選内定

## 石油協会会長は山冨氏新任へ

全石連（全石商・全石協）と全国石油協会は7日、石油会館で3団体役員選考準備会（座長・喜多村利秀全石連総務部会長）を開き、来年度の任期満了に伴う役員改選で、全石連の次期会長に森洋氏（本社・横須賀市、富士オイル社長・コスモ系）を満場一致で推薦することを決めた。正式には6月14日に福岡市で開催される全石連通常総会、全国石油協会定時総会で決定する。

石油協会の持田会長は2010年6月に会長就任以来、4期8年間にわたり、国民生活に欠かせない石油製品の安定供給確保に向け、SSの経営改善支援や環境・安全対策の推進、石油製品の品質確保事業の強化・拡充に尽力してきた。

持田会長からバトンを受ける石油協会次期会長に内定した山冨氏は、秋田大学鉱山学部助教授、東京大学工学

森全石連会長

山冨二郎氏

## 震災から7年ぶり再会

### 心の支えとなったユニホーム交換

### 岩手・釜石石油

東日本大震災の発災から3日後、岩手県釜石市で唯一営業を再開していたSSで、SSを果たした。

再会したのは釜石石油の磯田志信社長と出光興産九州第二販売支店の中川雄太さん。

震災の日、釜石石油の本社SSは大津波をかけまくり、出光興産に釜石石油の状況が伝わる。中川さんが盛岡市から車に積めるだけの支援物資を積み、3日後、どこよりも早く釜石に着いた。ローリーもそのころ着いてガソリンを補給した。

中川さんが物資をおろし片付けを手伝い、「あと足りない物は」と問う。「ユニホームかな」と磯田社長。「それでは私たちのを置いていきます」。寒風吹きすさぶSS店頭でユニホーム交換が行われた。感動した磯田社長。言う間に長蛇の列ができて大混乱となった。1人千円までと限定し、在庫切れ覚悟で給油し続けた。

長男が携帯で電話をかけまくり、出光興産に釜石石油の状況が伝わる。中川さんが盛岡市から車に積めるだけの支援物資を積み、3日後、どこよりも早く釜石に着いた。ローリーもそのころ着いてガソリンを補給した。

中川さんが物資をおろし片付けを手伝い、「あと足りない物は」と問う。「ユニホームかな」と磯田社長。「それでは私たちのを置いていきます」。寒風吹きすさぶSS店頭でユニホーム交換が行われた。感動した磯田社長。

混乱の中、出光のだれかも記憶はなく、ネーム入りのユニホームが宝物として手元に残った。

出光の会合で再会した2人は感慨深げ。「被災地支援の最初の現場で、磯田社長らがひどい状況の中、石油を被災住民に供給するため必死に働く姿を見て、石油人の気概を体で感じ取れた」と中川さん。磯田社長は「バンカラな出光社員の心意気を父親から聞いていたが、あの時それを体感できた。これから生きていく心の支えにもなっている」と話した。

再会して握手する磯田社長㊧と中川さん

## 原油コスト1.2円安

今週の卸価格に影響する中東産原油の円建て週間コストは前週比1・2円安、3週ぶりに下落した。米国EIA週報で、米原油生産が過去最高水準になり下落要因、さらに米国大統領の貿易戦争発言に伴い為替・株式が不安定化していることも原油相場に影響を与えている。直近9日の東商取プラッツ・ドバイ原油は㌦建てで前日比0・38㌦安の㌬60・46㌦、円建ては0・2円安の㌔40・6円。

国内ガソリン陸上スポットは先週末、弱含みが鮮明化したが、限定的に収束する模様。一方で大手元売の中には製油所トラブルから「海・陸の両市場で積極的に玉の手当てをしている」（商社筋）との声もある。9日のTOCOMウインドウ・ガソリン陸上は前日比0・1円安の110・6円。

◇　◇

特約店筋によると、コスモの週決め仕切りは全油種で据え置き。

**2月中旬原油CIF㌧47.5円**
財務省

財務省が7日発表した2月中旬原油CIF価格は、前月比4・74㌦高の㌬69・23㌦と7ヵ月連続で前月を上回った。

円建ては原油価格が上昇したものの、為替が㌦109・09円と円高で推移したために値上げ幅は若干圧縮され、1713円高の4万7507円と6ヵ月連続で前月を上回った。

**川崎製油所が1ヵ月間定修**
JXTGエネ

JXTGエネルギーはこのほど、川崎製油所の第3トッパーが今月上旬から4月上旬まで定期修理に入ることを明らかにした。

週仕切り指標のコスト変動と推計値（＊原油＝価格適用期間のFOB平均値）　（円／L）

| 適用期間 | 原油 | ガソリン | | | 灯油 | | 軽油 | | A重油 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 土～金曜 | | 指標 | 系列卸 | TOCOM | 指標 | TOCOM | 指標 | TOCOM | 指標 |
| 2／4週 | ▲2.62 | ▲1.9 | ▲2.5 | ▲0.0 | ▲0.7 | 3.3 | ▲1.2 | 0.4 | ▲1.2 |
| 2018年2月（前月比） | ▲2.91 | ▲0.8 | ▲0.9 | ▲3.8 | 1.3 | ▲0.7 | 0.2 | 0.5 | 0.6 |
| 3／1週 | 0.81 | ▲1.2 | ▲1.5 | 0.9 | 0.1 | ▲4.3 | ▲1.1 | 1.6 | ▲1.1 |
| 2週 | 0.33 | 0.1 | 1.0 | ▲1.0 | ▲0.2 | ▲0.9 | ▲0.0 | 0.0 | ▲0.1 |
| 前週実勢値 | 42.61 | 111.8 | 110.3 | 108.9 | 63.9 | 60.3 | 59.3 | 62.0 | 57.5 |
| 前週標準仕切り推計 | --- | 117.6 | 115.4 | 111.4 | 69.7 | 62.8 | 65.1 | 64.5 | 63.3 |
| 3週 | ▲1.16 | ▲0.4 | 0.0 | ▲0.5 | ▲0.9 | ▲0.4 | ▲0.0 | 0.0 | ▲0.0 |
| 当週実勢値予測 | 41.45 | 111.4 | 110.3 | 108.4 | 63.0 | 59.9 | 59.3 | 62.0 | 57.5 |
| 最近値 | 41.07 | 116.2 | 110.3 | 108.4 | 62.4 | 59.9 | 59.0 | 62.0 | 57.2 |

## 論説

# 地震国で任務を果たすために

東日本大震災から7年。地震国・日本ではその後も大きな地震が断続的に発生しており、2013～17年の直近5年間でも震度7＝2回、震度6＝10回、震度5＝60回、震度4＝323回、震度3＝1213回、震度2＝3919回、震度1＝9366回を数える。熊本地震があった16年は平均の2～3倍程度へ急増したが、それを除いても1年間でおおよそ震度5が10回、震度4が30～50回、震度3が150回程度それぞれ記録された。

昨年に限ると、震度3以上が182回。2日に1回という頻度で、不安感も高まる規模の地震が起きている。都道府県別では、福島31回、茨城29回、宮城、栃木、長野、熊本が各18回と続く。ここ数年の傾向も、中部以西は比較的少ない。だが、油断はできない。英知と資金をつぎ込んだ東海地震対策の〝直前予知が可能〟という前提は覆り、南海トラフで30年以内にマグニチュード8～9級が発生する確率も年初の評価で70％程度から「70～80％」に引き上げられた。

また、地震以外の災害要因となりうる大雨、強風、大雪、火災などの発生確率はもっと高い。石油販売とSSに携わる事業者・石油組合として、地域やお客様の安全安心な日常をサポートする使命はいつの時代も変わらない。社会から寄せられる期待は一層高まっており、同業仲間が減ったから、既存業者のなすべき役割は増えている。

石川県加賀市で1年前、地元業者・支部との災害協定締結に際し「公務災害補償」を同石協側にも適用する画期的な条文が盛り込まれた。東京都が先月まとめた『今後の帰宅困難者対策報告書』は、一時滞在受入施設の拡大に向けて「事業者免責の仕組み作りの検討」を挙げた。

石協・支部との災害協定締結の必要性や、SNSなどの情報拡散による混乱が問題視された。現実的な対応として、協定も常に万能ではなく、不可抗力は排除できない。この前提を踏まえて、復旧・復興に資するより良い方策を平時から〝相応に〟模索し、共通理解を深めることが肝要だろう。『満タン運動』も、その一環となる。

幾多の犠牲から得た貴重な教訓を生かす国土強靭化の中で我々は〝最後の砦〟を堅守し、任務を遂行し続けたい。


2面　年度末迎え高まる採算意欲
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報
3面　関東版・今冬灯油を振り返る/中部版・豪雪で満タン意義再確認
近畿版・経営改善へ問われる覚悟／都道府県別販売実績
4面　ポンプあいうえお　▼出張や旅行などで新幹線を使う方はとても多いのでは。速いうえに時間も正確。さらに運行による乗客の死亡事故はゼロという安全神話も持つこの乗り物は、いまや日本になくてはならない全国を結ぶ移動手段の中心だ▼しかし、これだけ国民の足として定着している現在の新幹線があるにもかかわらず、すでに次世代高速鉄道リニア中央新幹線の計画が進んでおり、東京～名古屋間で2027年の先行開業を目指しているという。リニアモーターカーは騒音や振動も少なく、沿線の環境影響を最小限に抑えることができ、さらには航空機並みのスピードと、新幹線の高速大量輸送能力を併せ持つ新時代の交通機関とされている▼車の世界でもこれまでのガソリン車からEVへのシフトが予測されている。地球温暖化や大気汚染対策の切り札と目されるEVの普及が我々SS業界に与える影響は計り知れないとの見方もあり、周辺環境の変化に対応するため、今後のSSには新しいビジネスモデルの構築が求められている▼この先もSSを取り巻く環境はさらに厳しくなるだろう。しかし、国民生活や経済活動に欠かすことのできない石油製品の安定供給を担うSSの重要性は変わることはない。この役割を全うするためにも、新しいSSのあり方を業界挙げて創り出していこう。



スピードもクオリティ
これまでの1WAY機では、スピード性は単なる処理能力というメリットしかありませんでした。「隼」はそのスピードを洗車のクオリティを高める方向にシフトし、開発技術を集中させ全てのコースでハイクオリティな洗車を実現しました。仕上がりを求める方にも、短時間での洗車を求める方にも対応したドライバー満足度を勝ち取る洗車機です。

余裕の処理能力がドライバーを満足させる!
今、セルフ洗車の歴史が動く!

コース別動作比較
ウォッシュコース / シャンプー コース
セルフ洗車機 1.5仕様 最速設定 約1分35秒
旧1WAY洗車機 0.5仕様 最速設定 約1分35秒
HAYABUSA 0.5仕様 最速設定 約59秒
FK-2コース / FK-2 HYPERコース（コーティングコース）
セルフ洗車機 1.5仕様 標準速度 約3分50秒
旧1WAY洗車機 1.5仕様 標準速度 約3分50秒
HAYABUSA 0.5仕様 標準速度 約2分35秒
コーティングコースも時間を短縮

洗車工程比較イメージ　選択コース FK-2 HYPERコース　追加オプション 高圧ジェット＋泡
一般的なセルフ/1WAY洗車機：高圧ジェット / 泡 / FK-2 HYPER
一般的な洗車機では、基本コースにオプションを追加すると洗車工程が上乗せされ洗車時間も余分にかかっていました。
HAYABUSA：高圧ジェット＋泡 / FK-2 HYPER　短縮した時間を利用
・処理台数を上げる
・さらにオプション追加し洗いを徹底強化する。
HAYABUSAは基本コースの時間が短縮したうえに、オプション工程も短縮する事が可能となり、大幅な時間短縮ができるようになりました。

1WAYコーティング ドライブスルー洗車機
HAYABUSA ～はやぶさ～

Beauty ビユーテー株式会社
■本社 名古屋市港区木場町2番地
TEL 052-692-2101（大代表）
http://www.beauty.gr.jp
ビユーテー本社事業所は環境管理に関する国際標準規格 ISO14001 の認証を取得しています。
洗車機製造部門タケウチテクノは品質管理に関する国際規格 ISO9001 の認証を取得しています。
E&I Ecology & Innovation
■Network of the Beauty
北海道支店　仙台支店　上信越支店　埼玉支店　東京支店　千葉支店
東海支店　北陸支店　大阪支店　広島支店　福岡支店　南九州支店

# 年度末迎え高まる採算意欲

## 関東〝決算期〟無事通過へ

### 上昇する諸費用 量より収益優先

新年度を目前に控え関東地方の石油製品市場が正念場を迎えている。ガソリンの需要動向が気になるところだが、SSでは「収益性が大事」と採算販売意欲が高い。地場業者は現状を「人件費などコストアップ要因が多く、量では年度末を乗り切ることができない」と話している。

商社は現状を「赤字覚悟で販売店が離れていくのを防いでいる状況。決算期が過ぎるまでは量を伸ばしたい」と明かす。元売との契約で一定量の販売を課せられているがSSの系列回帰が止まらず、売れていないことへの焦りが感じられる。

一方でSSは売ることよりも採算性を堅持する意欲が高まり、規模を問わず「いまは粗利益を確保したい」との声が多い。理由は「このままでは従業員を確保できない」、「経営面の進展がないことは考えられない」など様々だが、これまで改善してきた経営内容を決算期となる今月に悪化させることへの警戒感が根底にあるようだ。

「取引銀行からも収益性が指摘される」との声も聞かれ、〝決算期だから採算性が問われる〟という雰囲気が市場を覆っている。

地場業者は「市場で採算意欲が高まれば、市場はさらに安定するだろう」と今後に期待感を膨らませている。

### J本田 6SS G1円下げ132円

ジョイフル本田の運営する7SS（群馬・新田店、千代田店、栃木・宇都宮店、千葉・富里店、千葉ニュータウン（NT）店、埼玉・幸手店、東京・瑞穂店）のうち、新田店を除く6SSがレギュラーガソリンを1円値下げして、132円とした。

この結果、全SSでレギュラー132円、軽油108円、灯油81円となった。

### 畿近 災害対応にもコスト

### 適正口銭で人員、設備維持

【大阪】燃料供給の〝最後の砦〟として、SSの存在感は着実に高まりつつある。畿内でも防災訓練などで災害対応能力向上に努めているが、想定外の出来事に不安を感じる地場業者は多い。一方、災害対応が可能な人員体制や設備維持のためにも、採算確保の重要性は増していきそうだ。

昨年、奈良と和歌山でSSでの実地訓練を実施するなど災害への備えは進んでいるが、畿内の特約店社長は「現実に大災害が発生したら、上手に対応できるかどうかはわからない」と不安視する。また、販売店社長は「消費者だけでなく、普段から取り引きのない自治体や企業などの供給要請が殺到する可能性が強い。一方的に供給責任だけ負わされるのではないか」と指摘する。

災害時に店舗を運営するには普段以上に人員が必要になるが、別の特約店社長は「緊急で出動できる人は限られている。人員確保や設備投資するためには、いま以上に採算販売が重要となるだろう。災害協定を通じて積極的に官公需獲得に動くことも必要」と強調している。

毎日新聞社などの主催による災害危機管理セミナーが先ごろ都内で開催された（写真）。

第1部では、東京大学大学院の廣井悠准教授が「災害被害予測と防災の現状」をテーマに講演。大震災発生時はビル火災が起きやすくなると指摘したうえで、「家具の固定・耐震化・初期消火・避難行動が最重要」と述べ、「東日本大震災から約7年が経ち、そろそろ本腰を入れて防災対策のあり方を見直す必要がある」と強調した。

第2部では「災害時の食・水・トイレの確保」をテーマに、阪神淡路大震災の実体験も踏まえ、毎日新聞社元ジャカルタ特派員の岩崎日出雄氏、セイエンタプライズの平井雅也社長らが講演。岩崎氏は「補給路を断たれると、緩やかにしか支援物資が届かない。水、食料、電源、燃料などを確保しておかないとならない」などと助言。

### 災害危機管理セミナー 「平時の備え」44%のみ

また、平井社長は「アンケートによると8～9割の人は〝災害に遭う〟と思っているにもかかわらず、実際にはその44%しか備えを行っていない。まさしく無防備の状態と言えるのではないか」と問題提起したうえで、「正しく恐れることが大事。不安を持たないと備えにつながらない。被災シナリオを作成すべき。我々は災害と災害の間に暮らしている」と強調、自社の防災セレクトショップ製品などを紹介し、平時からの備えを呼びかけた。

## 連載 3

### 講師 佐藤 哲治 氏（ジャパンリスクソリューション 主席コンサルタント）

### SSにおける「支払い」に関するトラブル14事例

### ②財布を忘れた。後から払いにくる

### 真に受けず、「カタ」取って

この申し出は絶対に真に受けてはいけません。筆者の過去20年の相談事例で本当に支払いを履行したケースは2～3例しかありません。

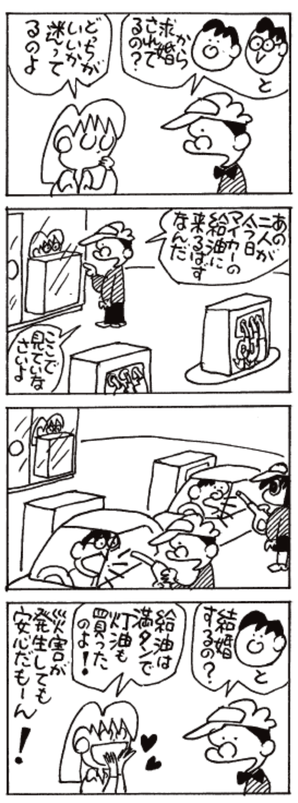
給油が終了した時点で財布を忘れたと申告されます。ほとんどのSSスタッフはこんなケースは未経験です。相手からは悪びれた様子もなく「ゴメンね。ここに住所、名前、携帯番号を書いておくから。間違いなく、すぐに支払いに来るよ」という言葉を信用してしまいます。そして数日後、電話をしたらつながらない、住所も名前も該当なし。つまり「演技付きの入れ逃げ」となります。

人間ですから、うっかり忘れることもあるでしょう。そうであれば、SSは単なる口頭での約束で済ますのではなく、確実に支払いが実行される手続きを取らなくてはなりません。もし支払いに来ない場合、入れ逃げと違い警察に被害届を出せません。単なる支払遅延という扱いをされます。いわば「ツケ販売」と同義という訳です。

また免許証のコピーを取り、「車両ナンバーを記録」しても支払われる保証はありません。居住先を突き止め、回収までもっていくことは、実務的に非常に困難です。しかも数千円の回収にかかる手間とコストが見合わないのです。もちろん、相手は「数千円のために金や手間をかけることはないだろう」と見越しています。

それではどんな手続きを取るべきか。

筆者はなんらかの「カタ」をとるべきだと思います。例えばスペアタイヤを預かるというのはどうでしょう。「支払いに来なければ損をする」状況を作らなければ支払いは保証されません。実際に、そうしたSSがありました。相手はなんと言ったか。「お前のSSは客を信用しないのか」と噛みつき、揚句に「払えばいいんだろうが」と。また、店長が「携帯電話にかけてみます」と言ったら、バツが悪そうに支払ったとのこと。

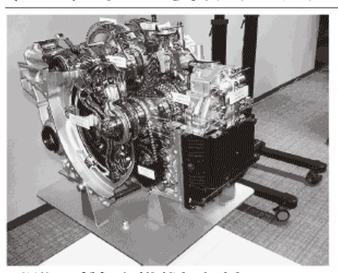



世界の三大ガソリン計量機メーカー
TATSUNO

## トヨタ 新型CVTなど公開

トヨタは先ごろ、パワートレーン（PT）技術説明会を開催し、燃費や動力性能を向上させた新型の無段変速機（CVT）、2ℓダッシュエンジン、2ℓダッシュエンジン用ハイブリッドシステム、4WDシステムなどを公開、今春以降に搭載車種をグローバルで拡大していくと発表した。

CVTは現行比6%の燃費向上、4気筒直噴エンジンは世界トップレベルとなる熱効率40%、HV用エンジンは41%を達成。HVシステムは加速時のエンジン回転数を下げて電池からの電力を高めることにより「リニアで伸びのある加速感」を実現した。


発進用ギヤを搭載した新型CVT

また同社は、4WD市場が今後さらに拡大すると見込んでおり、2025年には新型4WDの販売比率を約70%・28車種まで拡大する方針だ。

同社は〝いいクルマづくり〟の構造改革『トヨタ・ニュー・グローバル・アーキテクチャー』（TNGA）を推進中で、21年までにエンジン9機種・17バリエーション、トランスミッション4機種・10バリエーション、ハイブリッドシステム6機種・10バリエーションを投入予定で、今回はその一環。23年までに新型PT搭載車の年間販売台数の割合を約80%にすることを目指す。

## 静岡県 12～13日に水素ST勉強会

【静岡】静岡県は「水素ステーション構成機器分野への参入に向けた勉強会」を12～13日に、浜松市と静岡市で開催する。県内の中小企業が対象で無料。

問い合わせは、県経済産業部エネルギー政策課（電話＝054－221－2949）へ。

## 共同研究事業成果発表会 当面は石油の主流続く

### JPEC

石油エネルギー技術センター（JPEC、月岡隆理事長）は8日、石油業界と自動車業界の共同研究事業「JATOPⅢ」の成果発表会を都内で開催し（写真）、最新の自動車・燃料技術や大気環境問題などに関する研究成果について発表した。

冒頭あいさつで中野賢行専務理事が「次世代自動車の生産拡大が世界的な流れになっているが、当面は石油が自動車燃料の主流であることに変わりはなく、時代のニーズに合わせた展開が必要」と、石油燃料に関する研究開発の重要性を訴えた。また、来賓の資源エネルギー庁石油精製備蓄課の西山英将課長も「2030年ベースでも、全エネルギーの30%は石油が担う」と、当面エネルギー源で最大のシェアを占める石油の重要性を強調した。

基調講演では、同課の丸山翔課長補佐が「石油産業を取り巻く現状と今後の政策的方向性について」と題し、「IMOによる船舶用燃料への環境規制などから、重油の需要減少が特に顕著になるだろう」とし、国内の石油需要は減少し続けるとの見通しを明らかにする一方、「アジア地域などを中心として、世界の石油需要は今後も増加する」と見込んだ。

### 大分・バイナリー発電所に経産大臣賞

出光興産の子会社である出光大分地熱の滝上バイナリー発電所が受賞した「平成29年度新エネ大賞最高ランク・経済産業大臣賞」の表彰式が先ごろ、「ENEX2018・第42回地球環境とエネルギーの調和展」で行われた（写真）。

バイナリー発電は、従来の地熱発電では活用できなかった低温の蒸気・熱水での発電を可能にする方式で、既存発電所にバイナリー方式を導入することにより短期間で発電容量の向上が見込まれ、国策である地熱発電の拡大も期待されている。

同社はブースを出展してその取り組みを紹介し、来場者と活発な質疑応答を行った。

### 釧路LNG基地を北ガスと共同利用

JXTGエネルギーは先ごろ同社所有の釧路LNGターミナル（北海道釧路市）を北海道ガスと4月から共同利用することで合意し、ターミナルを運営する両社折半出資の「釧路エルエヌジー」を設立したと発表した。2015年に稼働した同ターミナルは、LNGタンク（1万㌔リットル×1基）やローリー出荷設備などを備えており、JXエルエヌジーサービスが運営している。

### カナダオイルサンド事業の全権益売却 JX開発

JX石油開発は先ごろ100%出資カナダ法人が同国アルバータ州で生産操業中の「シンクルード・オイルサンド・プロジェクト」の全保有権益（5%）について、プロジェクトの最大パートナーSuncor社に売却することで合意したと発表した。

プロジェクトは1970年代後半から始まったカナダの主要オイルサンド事業の1つで、オイルサンドから合成原油を生産している。JX開発は92年に参入。昨年の生産実績は日量グロス24・8万㍗（ネット1・2万㍗）。

JX開発は低油価の環境でも収益を確保できる強靭な体質の構築を進めており、権益売却はこの一環。

## DATAコーナー

■石油先物市場・3／9

△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：￥／KL

東京商品取引所（京浜海上：1枚＝50KL）

| 16：30現在 | 前日比 | 限月 | 16：30現在 | 前日比 |
|---|---|---|---|---|
| （前日出来高1,369枚） | | ガソリン | （前日出来高20枚） | |
| 54,640 | ▲160 | ④限月 | 55,800 | ▲500 |
| 55,000 | ▲190 | ⑤限月 | 56,300 | ▲700 |
| 55,170 | ▲230 | ⑥限月 | 56,450 | ▲50 |
| 55,150 | ▲250 | ⑦限月 | 56,450 | ▲50 |
| 55,040 | ▲40 | ⑧限月 | 56,450 | ▲50 |
| 54,830 | ▲70 | ⑨限月 | 56,000 | ▲20 |
| （前日出来高526枚） | | 灯油 | （前日出来高-枚） | |
| 59,890 | ▲90 | ④限月 | 61,000 | 0 |
| 56,600 | ▲30 | ⑤限月 | 58,000 | 0 |
| 55,470 | △40 | ⑥限月 | 57,000 | 0 |
| 55,020 | ▲10 | ⑦限月 | 56,000 | 0 |
| 54,640 | ▲60 | ⑧限月 | 56,000 | 0 |
| 54,710 | ▲100 | ⑨限月 | 56,000 | 0 |
| （前日出来高-枚） | | 軽油 | | |
| 62,000 | 0 | ④限月 | | |
| 62,000 | 0 | ⑤限月 | | |
| 62,000 | 0 | ⑥限月 | | |
| 62,000 | 0 | ⑦限月 | | |
| 62,000 | 0 | ⑧限月 | | |
| 62,000 | 0 | ⑨限月 | | |

中京石油市場（伊勢湾油槽所：1枚＝20KL）

原油指標

| | | 前日比 |
|---|---|---|
| 国内指標 | ＄／B | 61.18（▲0.79） |
| | ￥／KL | 41,457（▲298） |
| WTI | ＄／B | 60.12（▲1.03） |
| | ￥／KL | 40,739（▲463） |

## 今週の指針

3月12日～18日　強運日＝12、14、15　方位＝南西、東

運命アドバイザー　北 秀一

**1月生** 運気不安定で落ち着かない。冷静な行動を心がけよ。金銭運弱い。

**2月生** 情勢波あり苦労しよう。現状では軽率な行動は禁物。愛情も弱い。

**3月生** 運気に波があり安定しない。冷静な行動を心がけよ。金運不安定。

**4月生** 情勢まずまずで運気も普通だ。堅実な行動して結果吉。愛情普通。

**5月生** 運気安定せず苦労しよう。軽率な行動は慎むこと。金運も不安定。

**6月生** 情勢不安定で落ち着かない。冷静な行動を心がけよ。愛情不安定。

**7月生** 運気まずまずで情勢も普通だ。軽率な行動は慎もう。金運波あり。

**8月生** 情勢不安定で見通し暗い。冷静な行動を心がけよう。愛情も不良。

**9月生** 運気も強く情勢も普通。あせらず冷静に行動し結果吉。金運安定。

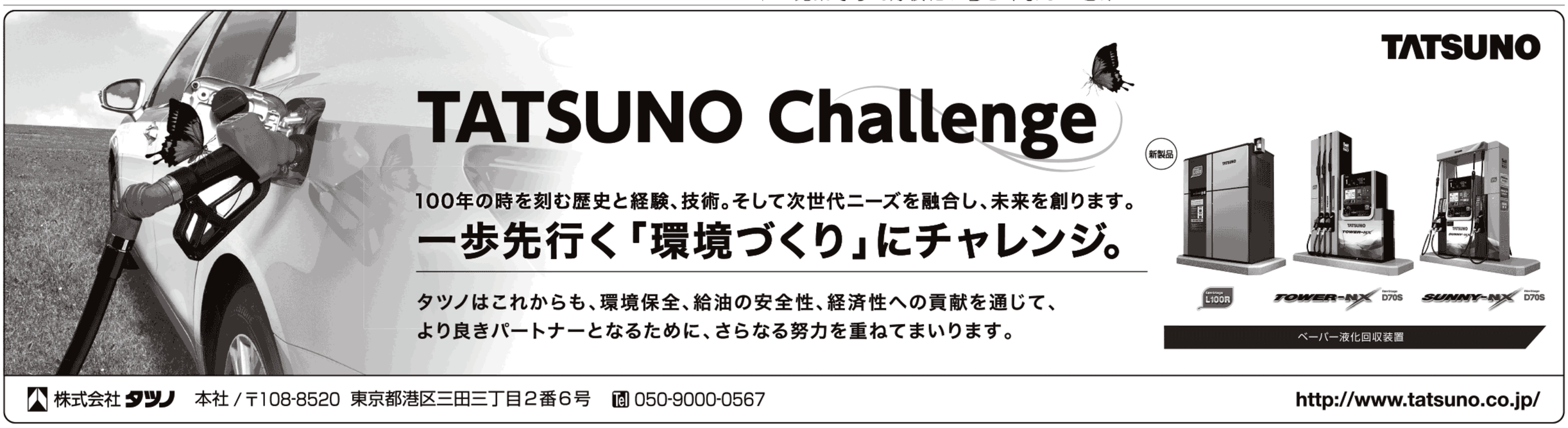
**10月生** 好不調の波あり安定しない。堅実な行動を心がけよ。愛情不安定。

**11月生** マイペースの行動し結果吉。あせらず冷静に取り組め。金運強い。

**12月生** 情勢安定して見通し明るい。堅実な行動を心がけよ。愛情運普通。

### 月生早見表

1月生＝1月5日～2月3日まで
2月生＝2月4日～3月4日まで
3月生＝3月5日～4月4日まで
4月生＝4月5日～5月4日まで
5月生＝5月5日～6月4日まで
6月生＝6月5日～7月6日まで
7月生＝7月7日～8月6日まで
8月生＝8月7日～9月6日まで
9月生＝9月7日～10月7日まで
10月生＝10月8日～11月6日まで
11月生＝11月7日～12月6日まで
12月生＝12月7日～1月4日まで



関東

関東支局（千代田区永田町2-17-14 石油会館）
03（3593）5757

# 寒波相次ぎ需要伸長

## 仕切り値上げ コスト転嫁が最大の課題

### 今冬灯油商戦

10月に気候の冷え込み第一波に襲われた関東地方。今冬灯油商戦には順調なスタートとなったが、天候の追い風とは逆に、仕切りコストが毎週のように値上がりし、採算性が気になる商戦期となった。10月から2月末までの仕切り改定は累計で8円強の値上げとなり、それとともに粗利益低迷が懸念された。今冬灯油商戦を振り返る。

シーズン前、暖冬予想に反し10月には実需が始まった関東灯油市場。打ち出し価格は18㍑店頭1600円（消費税込み）前後が平均値だった。千葉県の業者は「いきなりオーダーが入りあわてるほど忙しかった」と状況を振り返ったが、11月に入ると暖気が増し「期待が萎んだ」という。それでも年明け以降、寒波が相次いだことで、需要は例年以上の伸びを示し右肩上がりとなった。

シーズン前には1300円台の店頭価格も見られた灯油市場だが…

最需要地の新潟県の業者は今冬灯油商戦に賭ける気持ちは強く、シーズン前に先物市場で上げ分のコスト転嫁ができるよう販売面での工夫が必要であることを再認識した」と話している。

業者も現れ、仕切り値灯油を確保していたことを明らかにし「今年は儲けたい。引き売り業者もホームセンターの安値も相手にするつもりはない」と意気込んでいた。

だが、需要の伸長と併せるように仕切り値上げが続いたことで、「いまさら値上げを顧客に言えない。儲かるのは元売だけ」と話す業者も現れ、仕切り値上げ分のコスト転嫁ができるよう販売面での工夫が必要であることを再認識した」と話している。

シーズン前、暖冬予想に反し10月には実需が始まった関東灯油市場。打ち出し価格は18㍑店頭1600円（消費税込み）前後が平均値だった。千葉県の業者は「灯油は売れても粗利が剥がされるような商品であってはならない。季節商品として適時、コ

近畿
近畿支局（大阪市北区西天満一―４―19　サウスホレストビル５階）
０６（６３６２）２９１７

# 経営改善へ問われる覚悟

## 卸下落で市場弱含み　存続かかる舵取り

年初までは上昇傾向だった近畿のガソリン市場だが、元売各社の仕切価格が値下げ傾向に転じたことで各地で軟化傾向となり、地域によっては130円割れが散見されるようになった。価格競争激化を懸念する声は高まっているが、地場SS業者の中には生き残りをかけて採算確保に徹する意識もみられる。

昨年の秋以降、ガソリン価格が上昇を続けていた近畿市場。今年2月に入ると、仕切価格は値下げ傾向に転じたが、地場のフルSSを中心に140円以上の価格を提示するSSは依然として多かった。資源エネルギー庁の発表する給油所小売価格調査（ガソリン）で、近畿2府4県の平均は2月13日以降下がっているが、5日時点では144・3円となっている。

140円台の看板を掲げる大阪府大東市内のセルフSS

販売店社長は「値下げしても来店客が急増することはあまりない。利益を確保しないと生き残れない」と強調する。

PBでも140円近くと、系列と大差ない価格を提示するSSがある一方で、コストコのように130円割れの安値で販売するSSもあるが、特約店幹部は「安易に追随するつもりはない。自社の経営状態を考えると130円割れは到底無理」と話している。

原油価格は短期間で急変しやすい環境にあることを指摘するアナリストもいる。国際情勢によっては上昇に急転する可能性もあるが、特約店社長は「原油高騰で仕切りが上昇すればその分、価格に転嫁せざるを得ない。無理して価格を変えなければ、利益がなくなって自滅するだけだ」と訴える。

### 14ヵ月連続で緩やかに改善　管内経済動向

近畿経済産業局がこのほど発表した管内経済動向（12月指標を中心）では、14ヵ月連続で「緩やかに改善している」と判断した。

生産は持ち直しの傾向にある。個人消費は緩やかに改善し、11月の乗用車新規登録・届出台数は前年同月比1％減の約5・0万台で、そのうち普通車は6％増だが、小型車は9％減、軽四車は2％減。コンビニの商品販売額・サービス売上高は2％増の1528億円、ホームセンター販売額は0・2％増の485億円。

公共投資は下げ止まり、公共工事請負金額は5％増の1046億円、発注者別だと独立行政法人は23％減、市町村は13％減だが、国は4倍増、府県は18％増、その他は34％増となった。

雇用は改善しており、労働需給の引き締まりがみられ、有効求人倍率（季調値）は1・54倍、新規求人倍率（季調値）は2・38倍、完全失業率（原数値）は2・8％で雇用者数（原数値）は0・2％増の927万人。企業倒産件数は3％減の177件で、負債総額は47％減の209億円。中小企業の業況は、一部業種に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している。

先行きについては、海外経済の動向、原材料価格上昇や人手不足の影響などに注視が必要としている。

### NEXCO西日本・1月　G減も軽17％増

NEXCO西日本によると、1月の石油製品販売量（速報値、中四国・九州方面含む）は前年同月比9・6％増の3万8708キロリットルとなった。このうち、レギュラーガソリンは4・1％減の1万74キロリットル、ハイオクは8・9％減の1500キロリットルと減販だが、軽油は逆に17・4％増の2万654キロリットル、ハイオクは335・5キロリットル。

### 16日からバイクイベント開催　大阪MCショー

関西最大級のバイクイベント『第34回大阪モーターサイクルショー2018』が、今年も16～18日まで、インテックス大阪（大阪市住之江区）にて開催される。

イベントはキャッチコピーに「LOVE・BIKE」を掲げている。今回は会場の規模を拡大するだけでなく、過去最多の出展社数を記録する見込みだ。

最新モデルを乗り比べる体感試乗会や、大迫力のトライアルデモンストレーションに加えて、今回からは女性限定の実技講習会や親子バイク体験教室を実施する。また、若年層の来場を促すために、高校生以下は入場料を無料とし、特別割引当日入場券「若割U22」を世代を問わず楽しむことができる内容となっている。

問い合わせは第34回大阪モーターサイクルショー2018事務局（電話＝06－6357－2677）まで。

屋外のデモでは華麗な技が披露された2017年の大阪モーターサイクルショー

### 大阪・堺市水素推進協　イベントで水素身近に

堺市水素エネルギー社会推進協議会はこのほど2日間にわたり、大阪府堺市内で「水素エネルギー体感イベント！inイオンモール堺鉄砲町」を開催した。イベントは小中学生を対象に、水素エネルギーを身近なものとして感じてもらうことが目的。

当日は体験教室のほか、市が公用車として導入したFCV「MIRAI」の特別展示、同協議会の会員企業の取り組みをパネル展示で紹介した（写真）。

なお、同協議会は水素エネルギーの利活用を通じ地域発展などの指針となる「堺市水素エネルギー社会構築ロードマップ」を策定している。今後も水素エネルギー普及啓発活動の一環として、こうしたイベントを実施する方針。

### EV、HV伸長　減るCNG車　11月末・低公害車

近畿運輸局がこのほど発表した「近畿のちから」によると、近畿管内のトラック輸送状況について、10月の一般貨物輸送状況は、前年同月比2％減の83万5千トン、特別積み合わせ貨物は5％増の545万トンとなった。

9月単月の中古車登録台数は3％増の3万8218台で、うち滋賀は3343台、京都は1万4464台、大阪は1万3998台、奈良は2569台、兵庫は1万1827台、和歌山は2017台。

11月末時点の低公害車普及状況は15％増の102万3016台。CNGは17％減の3150台、EVは24％増の1万789台、HVは15％増の100万9077台。普及割合は16％で、用途別では貨物自動車は0・7％、乗合自動車は1％、乗用自動車は19％、特殊自動車は1％。

## 1月県別販売数量

石油連盟が先ごろまとめた2018年1月の都道府県別・石油製品販売実績によると、ガソリンは前年同月比が4・0％減と7ヵ月連続で前年を下回り、前月比も13・3％減と大幅に減少。販売量は400万キロリットルにとどまった。灯油は前年比が3・5％増と小幅に増加する一方、前月比は0・4％増とほぼ横ばいとなり、販売量は280万キロリットルとなった。軽油は前年比が1・0％減、前月比は16・6％減と大きく下回り、販売量は247万キロリットルと低迷した。燃料油計は、ガソリン、軽油の落ち込みを反映して前年比は1・9％減、前月比は7・5％減とともに下回り、販売量は1585万キロリットルと大きく落ち込んだ。

### ガソリン7ヵ月連続で前年減

【ガソリン販売実績】　2018年1月のガソリン販売量のうち前月比は13・3％減、前年比も4・0％減と落ち込み、販売量は400万キロリットルにとどまった。

都道府県別の前月比は、27・3％減の石川、22・1％減の愛媛、20・9％減の和歌山など2桁減の44都道府県を含む47都道府県すべてで前月減、12月とは逆の動きとなった。

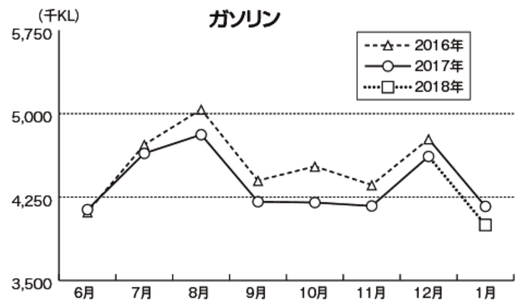
一方の前年比は、17・4％減の東京、16・2％減の石川、9・0％減の熊本など32都道府県が前年を下回ったのに対し、上回ったのは6・5％増の宮城、5・5％増の高知、3・4％増の長崎など15府県にとどまった。

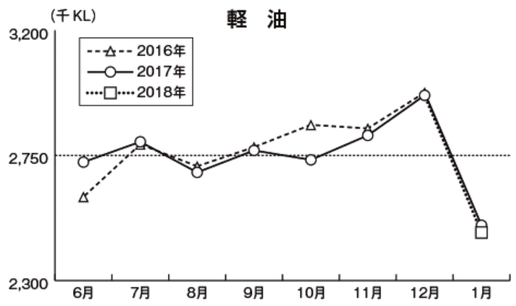
【灯油販売実績】　1月の灯油販売量は前年比16・6％減と7ヵ月連続で前年を下回り、前月比が16・6％減と2桁の落ち込みとなった。

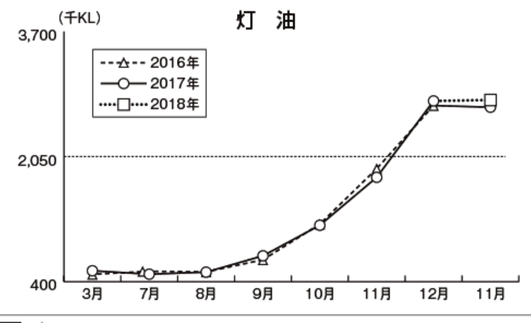
これに対して前年比は1・0％減と小幅ながら下回り、販売量は247万キロリットルと落ち込んだ。

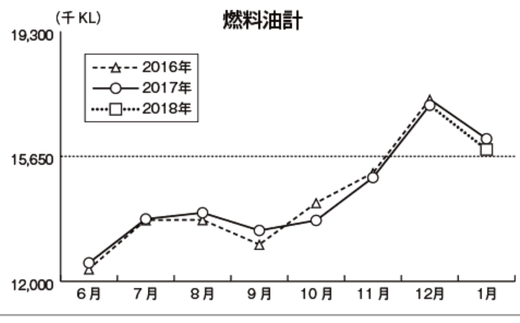
都道府県別のうち前月比は、29・7％減の東京、13・5％減の東京、11・4％減の青森、22・0％減の長崎など全47都道府県が前年を下回った。

【軽油販売実績】　1月の軽油販売量は前年比9・2％増の愛媛、8・0％増の沖縄など30都道府県が前年を上回る一方、14・6％減の京都、札幌、仙台、新潟、東京、名古屋、大阪、広島、福岡の8都市平均気温は3・0度で、平年比で0・5度、前年比で0・9度下回った。12月ほどではないものの、年明け後も厳しい寒さが続いていることをうかがわせる。




ZENSEKI

### 都道府県別・1月主要油種別販売実績

（単位：千キロリットル、％）

| | ガソリン | | 灯油 | | 軽油 | | 燃料油計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 18年1月 | 前年比 | 18年1月 | 前年比 | 18年1月 | 前年比 | 18年1月 | 前年比 |
| 北海道 | 171 | ▲2.1 | 470 | ▲3.2 | 168 | ▲3.8 | 1,358 | ▲1.8 |
| 青森 | 46 | ▲4.0 | 104 | 6.7 | 35 | 2.7 | 221 | 2.0 |
| 岩手 | 48 | ▲1.1 | 63 | 0.8 | 39 | 1.6 | 176 | 1.6 |
| 宮城 | 100 | 6.5 | 95 | 5.8 | 71 | ▲1.8 | 306 | 3.2 |
| 福島 | 76 | 1.0 | 66 | 8.1 | 52 | 2.3 | 223 | ▲20.4 |
| 秋田 | 37 | 0.5 | 72 | 10.5 | 22 | 0.2 | 173 | 4.6 |
| 山形 | 40 | ▲2.0 | 65 | 9.9 | 26 | 6.0 | 147 | 4.6 |
| 新潟 | 92 | ▲0.5 | 137 | 31.4 | 54 | 3.3 | 313 | 13.4 |
| 長野 | 80 | ▲1.0 | 97 | 6.6 | 39 | 1.5 | 236 | 2.5 |
| 群馬 | 71 | ▲1.1 | 46 | 4.4 | 36 | ▲0.1 | 174 | 1.2 |
| 栃木 | 82 | 0.8 | 52 | 7.6 | 48 | 1.0 | 206 | 1.7 |
| 茨城 | 124 | ▲1.5 | 65 | 10.4 | 78 | 1.6 | 577 | ▲16.2 |
| 千葉 | 176 | ▲6.3 | 69 | 3.5 | 90 | ▲6.2 | 1,627 | 3.9 |
| 埼玉 | 186 | ▲3.8 | 80 | 0.5 | 106 | 1.3 | 384 | ▲1.6 |
| 東京 | 439 | ▲17.4 | 246 | ▲11.9 | 265 | ▲13.5 | 1,524 | ▲12.0 |
| 神奈川 | 170 | ▲5.4 | 92 | 1.6 | 97 | ▲2.2 | 947 | 1.8 |
| 静岡 | 129 | ▲3.6 | 55 | 14.6 | 85 | 0.2 | 322 | ▲1.3 |
| 山梨 | 31 | 3.2 | 22 | ▲4.9 | 14 | ▲0.7 | 75 | ▲0.0 |
| 愛知 | 254 | ▲3.7 | 86 | ▲3.8 | 148 | ▲1.8 | 651 | ▲6.6 |
| 三重 | 107 | 1.7 | 45 | ▲2.0 | 71 | 5.9 | 504 | ▲2.3 |
| 岐阜 | 70 | ▲0.9 | 34 | 6.4 | 33 | 5.5 | 152 | 2.7 |
| 富山 | 37 | ▲0.7 | 34 | 18.4 | 22 | 2.3 | 144 | 15.3 |
| 石川 | 40 | ▲16.2 | 38 | ▲9.8 | 24 | ▲11.4 | 124 | ▲12.8 |
| 福井 | 29 | ▲0.2 | 26 | 12.2 | 19 | 6.9 | 99 | 0.3 |
| 滋賀 | 47 | ▲0.1 | 26 | 12.3 | 27 | 16.4 | 107 | 6.4 |
| 京都 | 57 | 2.7 | 22 | 0.7 | 28 | ▲14.6 | 116 | ▲0.3 |
| 大阪 | 194 | ▲3.3 | 66 | ▲0.5 | 138 | 7.1 | 579 | ▲4.4 |
| 奈良 | 36 | ▲0.6 | 14 | 14.1 | 13 | 6.7 | 66 | 4.7 |
| 和歌山 | 26 | ▲6.0 | 12 | 1.9 | 11 | ▲2.2 | 152 | 9.8 |
| 兵庫 | 133 | ▲3.7 | 68 | 8.6 | 88 | 0.8 | 347 | ▲0.9 |
| 岡山 | 76 | 0.8 | 52 | 3.1 | 48 | 1.5 | 560 | ▲9.9 |
| 広島 | 87 | ▲1.7 | 43 | 8.8 | 57 | ▲0.3 | 245 | 1.1 |
| 鳥取 | 23 | 0.9 | 15 | 4.2 | 13 | ▲0.1 | 70 | 7.4 |
| 島根 | 22 | 3.1 | 14 | 11.7 | 11 | 4.3 | 58 | 4.1 |
| 山口 | 55 | ▲0.1 | 48 | 8.6 | 40 | 0.5 | 682 | 0.3 |
| 徳島 | 26 | ▲3.3 | 12 | 8.9 | 13 | 2.7 | 88 | 52.2 |
| 高知 | 23 | 5.5 | 11 | 20.1 | 12 | 1.2 | 69 | 8.8 |
| 愛媛 | 42 | ▲8.2 | 23 | 8.0 | 28 | 9.2 | 351 | ▲15.2 |
| 香川 | 46 | 1.7 | 23 | 19.0 | 33 | 5.3 | 141 | 15.4 |
| 福岡 | 157 | ▲0.3 | 67 | 13.1 | 99 | 3.2 | 428 | 2.4 |
| 大分 | 43 | ▲2.7 | 19 | 13.3 | 24 | ▲0.1 | 301 | 3.0 |
| 佐賀 | 28 | ▲1.3 | 10 | 20.2 | 19 | ▲1.3 | 75 | 3.0 |
| 長崎 | 41 | 3.4 | 19 | 31.5 | 22 | 2.8 | 126 | 11.7 |
| 熊本 | 47 | ▲9.0 | 21 | 7.0 | 31 | ▲0.1 | 130 | ▲1.4 |
| 宮崎 | 41 | 2.9 | 17 | 23.8 | 22 | 1.9 | 123 | 7.4 |
| 鹿児島 | 61 | ▲5.0 | 25 | 5.2 | 35 | ▲0.7 | 211 | 11.5 |
| 沖縄 | 51 | 1.5 | 11 | ▲1.9 | 22 | 8.0 | 163 | ▲2.0 |
| 全国 | 4,000 | ▲4.0 | 2,796 | 3.5 | 2,474 | ▲1.0 | 15,849 | ▲1.9 |

ちゃんと
「ちゃんと買い」
してる？　基準※は、新車装着タイヤ。

※ブリヂストンの基準であり、タイヤ業界全体の基準ではありません。

株式会社ブリヂストン
［ブリヂストンお客様相談室］フリーダイヤル0120-39-2936　受付時間：月～金（祝日・当社指定休日は除く）9:00～17:00　月に一度は、空気圧の点検を！
www.bridgestone.co.jp
Worldwide Tire Partner

HITACHI
Inspire the Next

小さくなって、使いやすさアップ。

マルチフェイスLOW typeは、高さをおさえたコンパクト仕様。
低い背丈でも広い給油範囲を確保し※、
ノズルも取り回しやすくなりました。
さらに、コンパクトなLOW typeなら、開放感ある広々としたSSを演出。
多彩な機能に高い操作性をプラスした人にやさしい一台です。
※当社従来モデル（LOW type）より10％アップ

MULTIface マルチフェイス

日立オートモティブシステムズメジャメント株式会社　〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町８番地　パレール三井ビル　TEL. 050-3852-5623　http://www.hitachi-automotive-mm.com